



昨年の3月11日、想像を絶する大地震が発生しました。私達の年代でさえも経験したことのない大震災でしたが、そこから何かを学ぼうと、二中では「今、私たちにできること」(東日本大震災を受けて)を1年間の学習のテーマとして取り組みました。その中で本校の生徒会は、被災した同世代の中学生を支援するため、二中版「トモダチ作戦」を展開しました。

「トモダチ作戦」の第一歩は、募金と不用文房具(新品集め)を実施しました。募金は14万円、文房具は段ボール3箱集まりました。



おつかれさま

“大きなのっぽの古時計”



平成24年度・二中同窓会総会ご案内

日時：平成24年6月10日(日) 開場13:00 開会13:30 場所：市川二中体育馆

- 主要内容：1) 議案審議 平成23年度活動・決算報告 平成24年度活動・予算承認
2) 講演：館野 純生氏(15期生)
(三友会あけの第三クリニック所長・医学博士)
「腎臓：その働きと病気」
3) 歓談 一福引など (茶葉を囲んで)
4) 市川二中吹奏楽部・コーラス部
- 出欠を5月31日(木)までに同封ハガキにて以下を確認の上ご連絡ください
- ①欠席の場合は必ず返信してください
②会報を郵送した封筒に記載されている会員番号を返信ハガキに転記してください
③返信ハガキに50円切手を貼って投函してください
- 会 費：1,000円 (学生 500円)

（23年6月2日発行）



第15号 平成24年3月31日発行
編集
市川市立第二中学校同窓会会報委員会

- P 2 各委員会の活動紹介
- P 3 名簿刊行率と賛助金一覧
- P 4 特別寄稿 先輩後輩
- P 5 恩師を訪ねて
- P 6 恩師からのお便り
- P 7~10 会員だより
- P 11~12 同期会だより
- P 13 愛好会だより
- P 14 定期総会報告
- P 15 活動報告 決算・予算書
- P 16 手づくりの定期総会

会報 第十五号 号

市川市立第二中学校同窓会

市川市立第二中学校
松永潤

教育目標を「夢・命・絆」と新しくして3年目、子どもたちの中に、「絆の大切さ」が育まれてきています。実感しています。引き続き本校教育発展にご理解とご協力をお願い申上げます。

◆追記 本年度、二中の象徴である校庭の大谷石のスタンドに「夢・命・絆」の大看板を設置しました。

- 昭和50年(75年)4月に入学された方々には、以前染みの、二中玄関前にあった時計台が撤去されました。この時計台は、昭和3年3月14日の卒業記念として、PTAから贈呈されました。デザインは当時、美術科を担当されていた石橋正秋先生で、時計台の塗りの台は、二中の二二を白樺のシンボルとしたものです。

3年11月の東日本大震災

出来てしまい、その後も

倒され、解体されました。

このため、生徒の安全

第一を考え、同年5月27日、電源を

切った午後3時5分を刻んだ状態で

復興への願いと応援の気持ちを通じて強く伝わったこと

です。

本校生徒の両校へ向けた

復興への願いと応援の気持ち

ちはこの「トモダチ作戦」

を通して強く伝わったこと

です。



恩師を訪ねて 第6回 大池 広美先生

秋も深まつた、平成23年11月12日(土)市川真間駅近くの「デニー」へ大池先生にお越し頂き、当時の教え子3名、会報委員2名で、先生を囲み、ミニ同窓会のようにな楽しく二中の思い出話、転勤後そして現在の生活等を伺いました。

(14期 印出 博美記)

市川二中は昭和38年から6年間、市川市の総合体育大会で野球、相撲、卓球・陸上など7種目で優勝し、総合優勝に導かれました。野球部監督時代に、教育映画「九年の少年たち」にチーム全員で出演したが、指導された生徒の体力向上に貢献した為、サーキットトレーニング

昭和21年4月に東大法学院に入学した。戦争で活字や学問に飢えていたので、講義には欠かさず出席した。静かな広い教室で、戦争も敗戦もなかったように憲法や民法を講義する教授の声が淡々と流れていた。

1学年を修了した春休みに、草深さん※が私の父を訪ねて来られ、新設の市川二中で英語の教師がないで探している。誰もいなければ息子さんにお願いしたい」と

大学の講義に出席できるよう時間割を作つてもらつて、昭和22年4月から一期生の皆さんのお授業を受け持つ事になった。当時の二中の雰囲気は、いじめや暴力など全くなく、上品で教育熱心な家庭で育った行儀のよい生徒の集団であった。英語の上達には英文の暗記が一番であったとの考え方から、その後の授業が終った段階で、次の英語の授業途に前回の部分を暗記して来るようになした。皆さんは競つて手を挙げて発表してくれて、何時も授業

3年進学された皆さんとお別れすることになった。

数年前の一期会で、60年前の女生徒さんが、「私の前で今でも覚えていましたよ」と2年の教科書の約1頁の部分を譲りだされたのは驚いた。田中芳雄君は御自分の著書で「他の人は違う、日本語で書いているが、自分は英語で書いていたのでは読んでも欲しい」と貴重な英語の論文を送つて下さった。

専門分野の内容は、私は知識がなく理解できなくて、英語は高难度な文法を駆使されて見事なものであり、「先生の英語訓導の結果です」と言われて嬉しい限りです。二中の皆さんとの出会いは私の生涯の宝になりました。

※編集部注 草深清先生・市川二中開校時から2年間在任された。

昭和21年4月に東大法学院に入学した。戦争で活字や学問に飢えていたので、講義には欠かさず出席した。静かな広い教室で、戦争も敗戦もなかったように憲法や民法を講義する教授の声が淡々と流れていた。

1学年を修了した春休みに、草深さん※が私の父を訪ねて来られ、新設の市川二中で英語の教師がないで探している。誰もいなければ息子さんにお願いしたい」と

大学の講義に出席できるよう時間割を作つてもらつて、昭和22年4月から一期生の皆さんのお授業を受け持つ事になった。当時の二中の雰囲気は、いじめや暴力など全くなく、上品で教育熱心な家庭で育った行儀のよい生徒の集団であった。英語の上達には英文の暗記が一番であったとの考え方から、その後の授業が終った段階で、次の英語の授業途に前回の部分を暗記して来るようになした。皆さんは競つて手を挙げて発表してくれて、何時も授業

3年進学された皆さんとお別れすることになった。

数年前の一期会で、60年前の女生徒さんが、「私の前で今でも覚えていましたよ」と2年の教科書の約1頁の部分を譲りだされたのは驚いた。田中芳雄君は御自分の著書で「他の人は違う、日本語で書いているが、自分は英語で書いていたのでは読んでも欲しい」と貴重な英語の論文を送つて下さった。

専門分野の内容は、私は知識がなく理解できなくて、英語は高难度な文法を駆使されて見事なものであり、「先生の英語訓導の結果です」とと言われて嬉しい限りです。二中の皆さんとの出会いは私の生涯の宝になりました。

特別寄稿

濱田 龍二

先輩後輩

旧東海道を歩いて 中村 正司(5期)

今回は、旧東海道ウォーキングを体験された中村氏の寄稿を、次号との2回に分けて掲載します。

スタートの日本橋



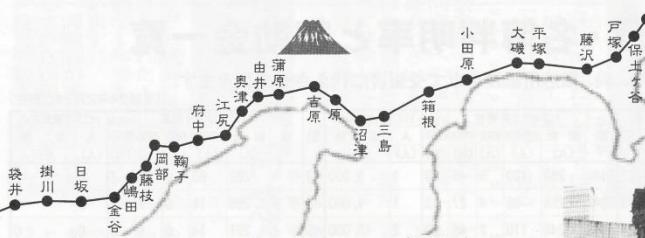
09年9月23日、スタート地点日本橋に立った。昔、社会人になつた時日本橋の近くにいたが、橋四隅の親柱の銘板「日本橋」にほんばしは将軍慶喜の揮毫によるものだということを初めて知つた。11年は現在の日本橋が架橋されて満100年である。

全程を通じて云えることは、

旧東海道の道が明確に表示されているところと、ものすごく分かりづらいところがあるということ。

要は、その市や町の歴史に対する

旧東海道五拾三次の宿場名



旧東海道歩きは旅行会社などで企画されているが、予め決められた日程で集合行動になるため、悪天候でも行き、自由行動もできないので、うちのカミさんと行くこととした。

方針としては、雨が予想される時はやらない、又旧東海道から若干それでも近くに興味がある場所には立ち寄ることとした。

ご存じのように、旧東海道には53の宿場があり、東京日本橋から京都三条大橋まで、約500キロである。1回20キロ歩けば25回で終わることになるが、興味本位で道筋からそぞらしたり、ゆっくり昼食を楽しんだりしたため、33回かかる

心意気の差だろう。地方に行くと道路に出ている人が少なく、尋ねることもできず、又若い人では聞いても分からぬ。

歩き方としては、今日A地点まで歩いたら次回はA地点に戻り、リ・スタートする方法を探つた。関東近辺を歩いている時は楽だが、遠くなるにしたがつて朝一番の電車に乗つて前回の終了地点に戻らないと、歩く時間が少なくなる。

静岡以西になると新幹線を利用しないと機動的に行動できないが、帰路、ビル・イスギー・つまみを買って夕暮れや夜の景色をぼんやり眺めながら家路に着くのは最高だった。

全行程を歩くことが無理な人は、おいしいところだけをスポット的に歩いたらよい。そんな人のため、次回は私が印象に残つた幾つかの宿場を紹介したい。

心意気の差だろう。地方に行くと道路に出ている人が少なく、尋ねることもできず、又若い人では聞いても分からぬ。

歩き方としては、今日A地点まで歩いたら次回はA地点に戻り、リ・スタートする方法を探つた。関東近辺を歩いている時は楽だが、遠くなるにしたがつて朝一番の電車に乗つて前回の終了地点に戻らないと、歩く時間が少くなる。

静岡以西になると新幹線を利用しないと機動的に行動できないが、



ゴール間近の私

菅原先生・個展開かれ　—画業80年を記念して—

市川二中第12代校長の菅原尚先生

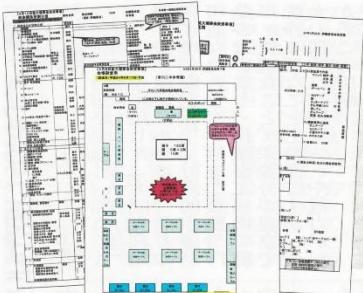
が、有楽町駅前の東京交通会館、

ゴールドホールにおいて「画業60年個展」を開かれました。

平成23年10月30日から11月5日までの1週間に初期大学卒業制作品、から60年間に制作した、主にヨーロッパ滞在中の作品を中心に約70点を展示されました。

先生は母校に「美術科教諭」を訪ねて」に記載しています。(16期 斎藤康記)

手づくりの定期総会



緻密な役割分担、設営表



会場準備、整いました

お決まりの議事は30分位で済ませ、後の2時間ほど技を持つ会員の“講演”、茶菓をつまみながら“懇親（アルコール抜き）”、在校生・吹奏楽部の“プラスバンド演奏”、合唱部の“コーラス”、“福引き”。そしてプラスの伴奏で校歌が歌いたいから出席という人もいて、一番人気の“校歌齊唱”でお開きとなる。

後片付けは、在校生・出席者も協力してくれる。

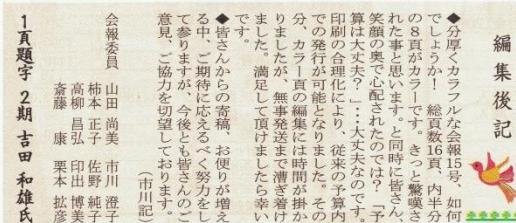
(5期 山田 尚美記)



今年も下記の通り、同封の振込取扱票、又は銀行振込で、宜しくお願い致します。

賛助金の振込先

1. 郵便振込：従来通り。同封の振込取扱票を使い郵便局窓口で振り込む。
手数料は振込人(会員)のご負担でお願い致します。(青伝票)
(口座番号 00160-0-33680 市川市立第二中学校同窓会)
2. 銀行振込：振込口座 ①三菱東京UFJ銀行 市川支店(店番619)
口座番号 普通 1309161
②千葉銀行 市川支店(店番011)
口座番号 普通 3651450
口座名義人 市川市立第二中学校同窓会
振込手数料 振込人(会員)のご負担でお願い致します。



連絡先

★三村 武教 (会長・情報管理委員長・役員選出委員長)

★鈴木 尚賢 (副会長・総務企画委員長)

★柿本 正子 (副会長・会報委員長)

★安藤 達夫 (副会長・名簿調査委員長)

★斎藤 康 (副会長・広報委員長)

★市川二中同窓会事務局 E-mail:2chu@kde.biglobe.ne.jp
〒272-0825 市川市須和田2-34-1